

43 おぶせ
小布施

(長野県小布施町)

注目ポイント！

町と住民が連携し、潤いのあるまちづくりを推進。
住民交流を深める活動を通じて、歴史と文化の地域ブランドを確立。



美しい景観と文化に魅せられ、年間120万人の観光客が訪問！



北斎館前通り

コラム

小布施町商工会地域振興部長
当時、まちづくり会社ア・ラ小布施
の設立研究会を発足させ、その
後、社長に就任。

小布施映画祭、国際音楽祭等、
様々な企画イベントや事業を成功
させた。現在は町長に就任し、小
布施町の新たな第二ステージづ
くりとして、「小布施ブランド」の形
成を進めている。



観光カリスマ
市村 良三氏
(小布施町長)

これまでの経緯

- | | |
|-------------|---|
| 平成 2年(1990) | 「うるおいのある美しいまちづくり条例」を制定する。 |
| 平成 4年(1992) | 「景観づくりの指針 住まいづくりマニュアル」、「広告物設置マニュアル」を策定する。
花の情報発信基地として「フローラルガーデンおぶせ」が開園。
おぶせミュージアム・中島千波館が開館。 |
| 平成 6年(1994) | 株式会社ア・ラ小布施の設立。 |
| 平成 8年(1996) | 周遊シャトルバス「おぶせ浪漫号」の運行を開始する。 |
| 平成 9年(1997) | 「あかりづくりマニュアル」を策定する。 |
| 平成10年(1998) | 第3回北斎会議が開催される(第1回、第2回ともにイタリアのベニスで開催)。 |
| 平成12年(2000) | オープンガーデンを開設する。 |
| 平成18年(2006) | 景観行政団体となる。 |

主な取り組み

まちなみの修景

「北斎館」、「高井鴻山記念館」の建設を機に、町と地権者が協働し、施設周辺の修景事業（1980～87）を実施。町の支援の下、住民主体で歴史建築物と調和する美しい町並みの形成に取り組む。老舗栗菓子店前の栗間伐材を敷き詰めた遊歩道「栗の小径」には、多数の観光客が訪れる。



栗の小径



栗羊羹・栗かのこ



小布施ワイン

小布施名物の活用

栗の名産地として名高い小布施。良質の栗を素材にした「栗おこわ」、「栗羊羹」等は小布施の名物として観光客誘致に寄与。また、数々の国際コンクール賞を受賞した「小布施ワイン」を活用し、提携ワイナリーのワインを無料で持ち込める「BYOレストラン」等の仕掛けにより、観光振興を推進。

花のあるまちづくり

自治会による沿道ぞいの花飾りや花壇づくりに加えて、庭園施設「フローラルガーデンおぶせ」の開設、住民の自発的な植栽と管理による道路角地等の空地を利用した「ポケットパーク」、町に登録した一般家庭や商店、学校、寺院等の庭を一般公開する「オープンガーデン」等、町と住民が連携して花のあるまちづくりを推進し、多くの観光客を誘致。



地元中学生による花壇づくりの様子

Hi-Wayオアシス小布施総合公園

高速道路と一般道路の利用者に、水と緑を活かした休憩所として憩いの場を提供。ハイウェイオアシスでは、旬のとれたて野菜や果物、名物の栗菓子や小布施ワイン等を販売。

また、町の中心部を運行する周遊シャトルバス「おぶせ浪漫号」の発着地として、観光客の移動を支援。



おぶせ浪漫号

問い合わせ先

小布施町役場

Tel : 026 - 247 - 3111 <http://www.town.obuse.nagano.jp/>